

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成29年 1月11日

協議会名:糸魚川市地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <p>①市内の現状分析、評価、課題の整理 ②地域移動実態調査(過去の乗降調査結果の整理分析) ③市民アンケート調査 ④観光客等を対象とした来訪者アンケート調査 ⑤新駅予定地周辺住民アンケート調査 ⑥地域住民との意見交換 ⑦将来予測 ⑧地域公共交通網再構築に向けた検討 ⑨利用促進策に関する提案 ⑩その他計画作成に必要な事項 ⑪地域公共交通網形成計画書(案)の作成 ⑫協議会の開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>① 現状分析から、公共交通の効率的な運行と競合解消の必要性等の課題を整理し、また、えちごトキめき鉄道新駅整備によりまちづくりと一体となった公共交通の利用促進の必要性を位置付けた。 ② 乗降調査結果からバス事業の実態を分析し、通勤通学時間帯、生活時間帯に分けた運行形態検討の必要性を整理した。 ③～⑤ 市民アンケート、市民及び来訪者等公共交通利用者アンケート、新駅設置予定地周辺住民アンケートの3つのアンケート調査を実施し、日常の移動手段や時間帯、交通ニーズ等を把握した。 ⑥ 協議会に参加する市民委員から意見聴取している。また、地域単位での計画案説明及びパブリックコメントにて意見をいただく予定。 ⑦ 検討している公共交通網の再編方針や、新駅整備予定等の整備段階に合わせ、目標予算や運行形態を検討し、公共交通網の将来像を想定し、網形成計画の目標値検討も行う予定。しかしながら、H28.12.22発生の糸魚川駅北大火によりまちづくり方針への影響も想定されるため、状況を注視しつつ検討を進める。 ⑧ 11月末の協議会でバス路線の再編方針及び公共交通網の将来構想イメージを示した。今後議論を深めながら構想を固め、必要な事業を位置付ける予定。 ⑨ 既存の利用促進策の利用状況を整理しつつ、将来構想を推進することができる先進事例を収集しており、糸魚川市において効果の見込まれる利用促進策を整理し、必要な事業を位置付ける予定。 ⑩、⑪ 以上を整理して地域公共交通網形成計画として取りまとめる予定。次回の協議会で策定前の案を提示予定。 ⑫ 平成28年中に協議会を3回開催し、地域公共交通の現状と課題や網形成計画素案について協議を行った。今後数回の協議会開催により計画(案)を作成する。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている</p>	<p>③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸魚川ユネスコ世界ジオパークに代表される特異な地形から、主要道路は、海岸沿いの東西方向と谷筋沿いの南北方向とで「山」の字型を形成し、鉄道とバスネットワークが競合している。鉄道とバスネットワークの適切な役割分担により、効率的で利便性の高い持続可能な地域公共交通網を再構築する。 ・えちごトキめき鉄道新駅整備により、鉄道移動軸の強化を図る。 ・バスネットワークの再編を行い、持続可能性の確保を図る。調査により時間帯によって利用人数、利用目的、目的地が大きく異なることから、通勤通学時間帯とその他の生活時間帯別に分けて、それぞれに適切な運行形態に再構築する。 ・観光客等の来訪者にとっても利便性の高い公共交通を整備し、豊富な観光資源の活用により公共交通需要を喚起する。 ・長岡・新潟方面への公共交通の代替性と利便性の向上を図る。 ・効率性向上による利便性の低下を招かぬよう、わかりやすさや使いやすさ、適切な情報提供などにより利便性の向上に努め、市民、交通事業者、市の三位一体となった利用促進を図る。 ・これらの方向性のもと、地域公共交通網形成計画(案)を作成し、計画策定を目指す。